

ストップモーションアニメーションとは？

Aki KONO
河野 亜季

Toshikazu ISHII
石井 寿和

Yuichi ITO
教授 伊藤 有壱

Toshiko HATA
秦 俊子

MOCHIYAMADA MOCHIYO
餅山田 モチ世

Hiroki KONO
河野 宏樹

Keiko SHIRAISHI
白石 慶子

Shizuka MIYAZAKI
宮崎 しずか

Masataka HIROYASU
廣安 正敬

Kazushige TOMA
当真 一茂

Manami WAKAI
若井 麻奈美

Mari MIYAZAWA
宮澤 真理

Moe KURIHARA
栗原 萌

Ataru SAKAGAMI
坂上 直

Kohei TAKEDA
武田 浩平

Iku OGAWA
小川 育

Mandy LAM
林文蕙

STOPMOTION ANIMISM ストップモーション アニメイズム展

おもちゃ映画ミュージアム in KYOTO

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 立体ゼミ
伊藤有壱+ゼミ修了生有志による 立体アニメーション展

2019年3月23日(土) - 4月7日(日)
(3月23日[土]のみ午後2時より開館。4月7日[日]は午後3時まで)

開館時間=午前10時30分-午後5時 休館日=祝日含め毎週月曜、火曜

入館料=高校生・大人500円 中学生300円 小学生以下無料

入館料[イベント時]=高校生・大人1000円 [正会員800円] ※3月30日[土]開催ワークショップ参加者は別途500円

協力=東京藝術大学映像研究科アニメーション専攻 | I.TOON.Ltd おもちゃ映画ミュージアム(一般社団法人京都映画芸術文化研究所) 〒604-8805 京都府京都市中京区壬生馬場町29-1 TEL:075(803)0033 URL:<http://toyfilm-museum.jp>

国際博物館会議 京都大会
ICOM
KYOTO 2019



おもちゃ映画
ミュージアム

イベント情報

★トーク、ワークショップ

プチプチアニメ『ニャッキ!』
作家でもある伊藤有壱を含む
参加作家トーク&懇親会、
ワークショップもあります。

3月23日[土] 午後5時~

3月30日[土] 午後2時30分~

4月7日[日] 午後1時~

STOPMOTION ANIMISM ストップモーション アニミズム展

おもちゃ映画ミュージアム in KYOTO

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 立体ゼミ

伊藤有壱+ゼミ修了生有志による 立体アニメーション展

ストップモーションアニメーション(Stop Motion Animation)は、対象物に変化を与え1フレームずつ撮影した画像の連続再生によって「動き」を創出するアニメーション表現の一種です。日本では「駒撮り(こまどり)」の通称で知られますが、世界でスタンダードとされる「Stop Motion Animation」という視点からこの表現を捉え直し、「生命を吹き込む」といわれる背景に、映画誕生以前から人類が感じてきた「アニミズム(Animism)一汎霊説一」への憧憬に迫るアクションとして、「STOPMOTIONANIMISM ストップモーションアニミズム」を宣言します。

その第一歩として、2008年スタートした国立教育機関、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の「立体領域」が輩出した修了生の学生時代の作品と、その現在の才能にスポットを当てます。制作環境やアナログ技術の特殊性から、希少性ばかりに目が向けられた時代から、誰でも創ることが可能な表現へと変貌を遂げた「ストップモーションアニメーション」の現在と、その未来を感じ取っていただければ幸いです。

西日本初の正式巡回展となる貴重な機会、ぜひご高覧ください。

メイン上映 | プログラムA [東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻在学時の作品]

 <p>「賢者の贈り物」 12:48 2010年 石井寿和 (1期)</p> <p>新米マジシャンのジムとその妻デラのクリスマスの物語。デラは自慢の長い髪を売ってジムのためにクリスマスプレゼントを買おうと決意する。そして夜、ジムがショーを終えて家に帰ると……</p>	 <p>「約束」 8:27 2011年 河野 亜季 (2期)</p> <p>木々が赤く染まる季節だった。子供の肢体の前で泣く女がいた。女は我が子の影をばぎとってしまう。「一緒にいたい」その思いだけで子を胸にいだき夜の街を走り抜ける。そして、我が子を失いたくないが為、彼女は黒い闇を背負った男とある約束をかわしたのだった…</p>	 <p>「creator」 9:07 2011年 河野 宏樹 (2期)</p> <p>白い世界に一人残された主人公。彼は、突然様々な場所から現れる素材から自分の世界を創り始める。家を作り、動物を作った。しかし彼には疑問があった。この世界にポツカリ空いた穴。やがてこの穴を中心に自分達が生きられる、境界線がある事を知る。</p>	 <p>「さまよう心臓」 9:52 2011年 秦 俊子 (2期)</p> <p>廃墟で遊ぶ2人の高校生。奥の部屋から物音が聞こえ、1人が暗い部屋へと入っていく。そこには得体の知れない何か潜んでおり、2人の高校生は心臓を奪われてしまう。その廃墟に立ち寄りついでに少年と妹は…</p>
 <p>「かくれん坊」 7:51 2012年 白石 慶子 (3期)</p> <p>取材先は、海と山に恵まれた住宅地。あの日から、この町は真っ暗になった。闇のなかにかくされたのは、町明かり、家路、母、おなかのなかの子ども。事実の裏にかくれんぼしている真実を描いたアニメーション。</p>	 <p>「やみのけ」 7:08 2013年 餅山田 モチ世 (仲本有里) (4期)</p> <p>路地の中の不思議な出来事。路地裏には、表には無いものが沢山ある。路地裏では、表では起こらない事が沢山起こるかもしれない。表通りから隠されるように置かれたものたちは、日陰でひっそり生きている。</p>	 <p>「失われた空の下で二人」 9:15 2013年 廣安 正敬 (4期)</p> <p>未来、地球上のどこかで、外へ自由に出ることができなくなった状況で暮らす姉と弟。暗く閉ざされた部屋の中、弟の心は、絶滅した動物たちが静かに見守る世界と交差する。それは人類の行く末を予期してのことなのか。原子力エネルギーの是非を問う。</p>	 <p>「キドモドモキ」 5:04 2013年 宮崎 しずか (4期)</p> <p>キドモドモキは、まわりに擬く(もどく)性質をもつ。人目を気にして姿形を環境に合わせる。キドモドモキは、何に擬くのか。キドモドモキは、どのように擬くのか。擬くことで何が起きているのか。そしてキドモドモキは一生擬きつづけるのか。</p>
 <p>「パモン」 9:45 2014年 当真 一茂 (5期)</p> <p>パモンとは、頭の毛を自在に操り、胸毛でコミュニケーションをとる、摩訶不思議な生き物である。この物語は、パモンのなげない一日を覗いたものである。</p>	 <p>「Decorations」 7:00 2014年 宮澤 真理 (5期)</p> <p>郊外のひっそりとした家の古風なキッチン。定例の晩餐会の準備が進む中、新しい命の誕生が騒動と革新を運んでくる。そして旅立ち。見送る側も、かつて自分が同じように旅立った日を思い出す。</p>	 <p>「コーボにちにち草のくらし」 8:22 2014年 若井 麻奈美 (5期)</p> <p>コーボにちにち草に住む、くま、どんぐり、エビフライ、老眼鏡。4人のお話は少し涼しい早朝の初夏に始まって、冷たい空気に包まれた冬の日の朝に終わります。そしてそれからまたずっと先、いつか今日を振り返るその日まで、絶えずに続くお話です。</p>	 <p>「その家の名前」 4:31 2015年 坂上 直 (6期)</p> <p>そこはかつて祖父母が、両親が、僕が住んでいた場所。遠い記憶と感情を忘れてしまっても、確かにそこに存在し、これからもあり続ける。</p>
 <p>「THE FALL」 2:24 2014年 武田 浩平 (6期)</p> <p>うち沈み、外界と隔たりに感じる心は水中に漂う感覚と似る。男の心象風景である水中と、現実の浜辺での出来事。</p>	 <p>「I think you're a little confused」 8:30 2016年 小川 育 (7期)</p> <p>ある日、血入り腸詰はお手紙に誘われて、友だちの肝臓入り腸詰のお家へ遊びにいきました。</p>	 <p>「Brick Games」 3:22 2016年 林文 薏 (8期)</p> <p>高層ビルが建ち並ぶ都市に住んでいる兄弟。ある夜に二人が大好きなジェンガで遊んでいると、不思議な事が起こる。</p>	 <p>「Mind Room」 4:11 2017年 栗原 萌 (8期)</p> <p>キャリアウーマンの少しずつおかしくなってしまった日常。心の空洞を埋めるため、それはどんどん増えていった。</p>

プログラムB [伊藤有壱監督作品+修了後の作品,映像プロジェクトなど]

 <p>伊藤 有壱 「HARBOR TALE」 18:05 2011年</p> <p>舞台は港街「Y」。一片の赤いレンガは、洋館の一部として100年ものあいだ港街のうつろいを眺め続けてきた。「あの四角いキラキラしたものが何なのか知たくて、ある日ついに壁を抜け出した。</p>	 <p>「Rolling」 1:00 坂上 直 (6期)</p>	
 <p>MV「どっぴんしゃーらー」 3:50 河野 亜季 (2期)</p>	 <p>「パカリアン」 10:41 「映画の妖精 フィルとムー」 8:00 秦 俊子 (2期)</p>	 <p>NHKヒバクシャからの手紙「ホウセンカおじいちゃん」 5:00 三陸国際芸術祭2017「空とぶさんま」 2:10 白石 慶子 (3期)</p>

その他上映作品あり

イベント&ワークショップ

EVENING

3/23 sat
NHK「プチプチアニメ『ニヤッキ!』」作家の伊藤有壱を迎える
「参加作家によるトーク」
3.23 sat.17:00~ / 4.7 sun.13:00~
複数の作者によるトークステージ。制作者ならではの視点で作品を語ります。トーク終了後は懇親会を予定しております。(※トーク各回1時間程度を予定)

4/7 sun
35mmフィルムに絵を描いて、上映会!!
自分だけのアニメーションをつくらう
「体験ワークショップ」
14:30~ 対象/小学校高学年以上推奨
定員/先着10組 材料費/500円

3/30 sat
<ワークショップ申し込み方法>
お電話もしくはメールにてお申し込みください。
電話 : 075(803)0033
メール : info@toyfilm-museum.jp

展示

アニメーション作品に実際使われたパペットや素材、ならびに平面・立体作品、資料などを展示します

公式サイト

各プログラムの詳細や作家情報など掲載 >>>

SMA2018



<https://stopmotionanimism4.wixsite.com/sma2018>

会場マップ



電車 ○JR・地下鉄二条駅下車徒歩8分
○阪急「大宮」駅東改札口出口1番徒歩7分
バス ○「みぶ操車場前」下車

各プログラムについては、公式HPをご覧ください。会場HP (<http://toyfilm-museum.jp>)をご覧ください。